

施策コード	6-8
-------	-----

中心所管課	デジタル行政推進課
関連所管課	市民課

第6章	市民とともに歩むまちづくり -地域・行財政-							
基本施策名	8 行政のデジタル化							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
マイナンバーカードの普及率	%	12.6	45.7		100	100		
手続のオンライン化率	%	53.0	57.8		88.0	100		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 行政手続のオンライン化の推進	国の自治体DX推進計画に記載の手続以外についてもオンライン化に向けた検討を進めた。	令和3年度に実施した行政手続調査を基に、年度ごとの行政手続のオンライン化計画を作成し対象手続を拡大していく。
2 データ利活用の推進	東三河オープンデータサイトで15データセットを公開した。公開型GISの対象データを拡大した。	信頼性の高いデータとなるよう古い情報が掲載されていないか継続的に確認し、適切にデータの更新を行っていく。
3 デジタル技術を活用した業務改革の推進	RPAを新たに9業務に導入し、また県内共同利用のAIチャットボットやAI-OCRを活用することで職員負担の軽減につながった。	BPRを実施し、導入による効果が高い業務を優先的にRPAやAIを導入していくことで職員の負担軽減を図り、職員は職員でなければならない業務に特化できるようになることを目指す。

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R3年度)	今後の方向
		R3(決算額)	R4(予算額)		
		人工			
1	社会保障・税番号制度システム整備事業	6,226	12,798	51手続11,294件の情報照会を行い、添付書類が削減された。	びったりサービスを用いた手続オンライン化に向けた基盤整備を行う。
		0.4			
1	マイナンバーカードの普及促進	38,012		確定申告会場及び外国人に対するマイナンバーカード取得案内を実施	マイナンバーカードの普及率を100%にする。
		3			
3	RPA導入事業	7,532	8,900	RPAを9業務に導入し、業務時間を約5.6割削減。R2から導入の13業務は約4.5割削減。	R3の全庁業務量調査をもとに今までに導入したものに加え、他の業務へ横展開するなど取組を拡大していく。
		0.3			
3	AI活用事業	2,630	2,663	AIチャットボット質問回答数8,204件/年	質問に対して回答率を上げていくためにAIチャットボットのQ&Aを継続的に充実させていく
		0.2			

総括評価	成果・課題	情報連携の基盤整備は適切に行えている。市民の利便性向上のためには、手続きのオンライン化に向けたシステム上の環境整備のほか制度や運用の見直しも含めたBPRを一体となって行うことが求められる。また、オープンデータの活用について、具体的な取り組みを行っていない。
	今後の方向	行政手続きのオンライン化やRPA・AIの導入をBPRと一体となり進めていく。また、マイナンバーカードの交付率向上に向け、引き続き申請サポートを実施する。